

# 夢・挑戦・達成!

Dream! Challenge! Achievement!

## バレー特集

### あの春高へ

#### ～妹背高のレガシー～

#### 妹背牛といえば…

充実した設備のカーリングホールを持つ妹背牛町は、冬期間に楽しむカーリングの文化が根付いています。その一方で、かつて「もせうし」の名前を全国区に押し上げた屋内球技があります。

妹背牛商業高校（2009年閉校）の女子バレーボール部が、全日本高校選手権（春高バレー）で全国優勝を成し遂げたのが1978年。76年、78年には国体で準Vを達成するなど、数々の全道、全国大会で輝かしい実績を重ね、妹背牛にバレーボール旋風を巻き起こしました。

#### 母親とともに妹背高OG

妹背牛中学校を卒業後も近隣の高校で寮生活を送りながら、バレーボールの厳しい練習に打ち込む高校生がいます。ともに2年生の加藤綾菜（りんな）さんと渡辺亜衣莉（あいり）さんの2人は、隣の深川市にあるク

ラーク記念国際高校の女子バレー部員。2人とも妹背高バレー部OGの母親から、部活動に向き合う姿勢やコート上の動きについてアドバイスをもらいバレーの技術を磨いています。

#### 11月に春高バレー北海道予選

昨年の春高バレー北海道予選会でベスト8だった2人は、今年の目標について「春高に出場したい」と声をそろえます。

30回以上の全国大会出場経験を誇る名将・掛屋忠義監督は「（加藤さんを）ポイントゲッターでブロックも高い、（渡辺さんを）ミスが少なく、安定感がある」と評価。8月には、強豪の高校や大学との交流試合を通じて、レベルの高いプレーに学びました。

11月中旬の北海道予選まで1カ月余り。母親と同じ「春高」への夢を追いかける妹背牛出身の女子部員2人にスポットを当てました。



## バレーボールを始めたのはいつ

小学2年生

### そのきっかけは

- 家族や親戚の女性がバレーをしていたから
- 友だちの練習を見て楽しそうだったから

### バレーボールの魅力は

- チーム全員で得点した時の達成感
- ボールをつないで勝ち取った1点

### 理想の選手像は

- どんなトスでもスパイクを打てるアタッカー
- コート上で存在感を高められるセッター

### バレーを続けて良かったこと

- 信頼関係を築ける仲間が増えた
- 社会に役立つ礼儀や生活習慣が身についた



- ①加藤綾菜（りんな） ②2年生
- ③センター ④171 ㌢
- ⑤イチゴタルト

- ①名前 ②学年 ③ポジション ④身長
- ⑤好きなスイーツ

- ①渡辺亜衣莉（あいら） ②2年生
- ③セッター ④159 ㌢
- ⑤マカロン

## 妹背高 OG から

### 加藤さんの母・智美さん

私が達成できなかった、春高の大舞台で活躍してくれることを願っています。

全国の壁は高いと思うけれど、最後まで自分を信じて、仲間を信じて頑張ってください。

おれずに春高バレー出場の夢に向けて、頑張るみんなをこれからも全力で応援します。

### 渡辺さんの母・理恵さん

春高の全国大会がかかった高校最後の年。地区予選に敗れ、全道大会さえも出場できなかった悔しい思い出は今でも忘れられません。

「春高に出場したい」という思いからクラーク高校に入学した娘にその夢を託し、全力で応援し続けたいです。



交流試合の観戦中に拍手を送る  
渡辺さん（右）と加藤さん

### 優勝校のメンバーだった石井美雪・前教育長から2人にエール

今から43年前、夢の全国優勝を果たせた一員として、お2人にエールを送りたいと思います。

先日、本町体育館でクラーク高校と他校との練習試合を拝見する機会がありました。参加校は全員が礼儀正しく、かつての妹背牛商業高校と重なりました。

目標を持ち、それに向かって突き進む人はいつも輝いています。それが、バレーボールであるなら

何かしらの縁を感じています。どうせやるなら思い切り努力して、大きな宝物を見つけてほしいと思います。

かけがえのない高校生活を存分に楽しんでほしいと心から願っています。そして、健康でバレーボールができることへの感謝の気持ちを忘れずに素敵な大人になってくださいね。

「りんな・あいら ガンバレー！」

応援ありがとうございます！

